

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」におけるKPI達成状況

1 不安定な就労状態にある方

【KPI】正規雇用者について、3年間で4,800件以上を目指す。				
	取組概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全体KPI	○正社員就職件数3年間で4,800件以上	○正社員就職件数 2,070件	○正社員就職件数 4,747件（累計）	○正社員就職件数 6,009件（R4.9月末累計）
マッチング・相談による支援	<労働局> ○就職氷河期世代支援窓口を設置し、チーム支援を実施 ハローワーク広島（令和2年4月1日設置） ハローワーク広島西条（令和3年3月1日設置）	○就職件数2,070件	○就職件数2,677件	○就職件数1,262件（R4.9月末現在）
	○氷河期世代を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保	○限定求人156人 歓迎求人415人（R1.8~R3.3累計）	○限定求人273人 歓迎求人1,730人（R1.8~R4.3累計）	○限定求人317人 歓迎求人2,396人（R1.8~R4.9累計）
	○各ハローワークにおけるセミナー・ミニ面接会の開催	○開催数273回 参加者数1,157人	○開催数442回 参加者数1,807人	○開催数378回 参加者数1,633人（R4.9月末現在）
	○民間委託による成果連動型の教育訓練、職場実習等を実施	○支援対象者数28人 就職件数5人	○支援対象者数24人 就職件数8人	令和4年度は事業実施なし
	○民間委託による企業説明会や就職面接会の実施、幅広い周知広報の実施による気運の醸成	○Web企業説明会（R3.2.20） 参加企業数6社 参加者数18人 ○Web企業訪問ツアー（R3.3.6/R3.3.13） 参加企業数4社 参加者数32人	○「就職氷河期世代を採用する企業」応援セミナー（R3.7.21）参加企業数12社 ○ワークショップ&個別相談会（R3.8.21 広島エリア）参加者数14人（R3.9.4 オンライン）参加者数9人 ○オンライン合同企業面接&説明会（R3.10.29 広島エリア）参加企業数15社 参加者数16人（R3.11.13 福山エリア）参加予定企業数14社 ※中止 ○トークイベント「働きづらさ、生きづらさ、今ここから語らう」（R4.2.19）参加者数98人	○キャリアプラン・ライフプランセミナー（R4.7.12）参加者数5人 ○就職氷河期世代活躍支援のためのオンライン講演会（R4.7.21）参加企業数25社 ○合同企業説明会（R4.8.26 県西部地域）参加企業数12社 参加者数10人（R4.10.20 県東部地域）参加企業数7社 参加者数7人 ○就職氷河期世代活躍支援のためのオンライン座談会&講演会（R4.10.13）参加企業数24人 ○就職・転職活動はじめての一步のためのオンライン交流会（R4.11.20）参加者数10人
	○就労体験を通じた業種・職種の理解の推進のための職場実習・体験の実施		○受入可能事業所数10社 参加者数10人	○受入可能事業所数12社 参加者数8人（R4.10月末現在）
	<広島県> ○ひろしましごと館における就職支援等	○相談件数332件、就職件数26件	○相談件数385件、就職件数22件（うち正規雇用19人）	○相談件数342件、就職件数21件（うち正規雇用15人）（R4.10月末現在）
	○求人ニーズの掘り起こしとコーディネート機能の強化（令和3年度から実施）		○令和3年6月に「働きたい人全力応援ステーション」を県内2か所に設置。 ・求人開拓件数4,994人 ・求職登録件数593人（うち就職氷河期世代226人） ・就職決定件数250人（うち就職氷河期世代83人（うち正規雇用45人））	○「働きたい人全力応援ステーション」におけるマッチング支援 ・新規求職登録件数694人（うち就職氷河期世代281人） ・就職決定件数286人（うち就職氷河期世代128人（うち正規雇用58人））（R4.10月末現在）
<経済産業局> ○民間事業者による中小企業と就職氷河期世代の者とのマッチ事業の開催	○合同企業説明会の開催（R3.2.6） 参加企業数6社 参加者数23人	○合同企業説明会の開催（R3.10.8） 参加企業数12社 参加者数11人 ○個別相談会（R3.9.1~R4.2.28累計）参加企業8社 参加人数8人）就職件数2名	○就職氷河期世代就職支援セミナー（R4.12.15予定） ○合同企業説明会の開催（R4.12.17予定）	
<広島市> ○就職氷河期世代等のマッチングの促進（令和3年度から実施）		○令和3年6月に紙屋町シャレオ内に「しごと相談カフェiroha」を設置。 登録者数641名（うち就職氷河期世代349人） 就職決定者数157名（うち就職氷河期世代83人（うち正規雇用37人））	○「しごと相談カフェiroha」の実績 ・新規求職登録者数488人（うち就職氷河期世代221人） ・就職決定件数112人（うち就職氷河期世代56人（うち正規雇用23人））（R4.10月末現在）	
職業能力開発等に向けた支援	<労働局> ○短期資格等取得コースを創設し、安定した就労につなげる支援を実施	○開講コース3件	○開講コース7件	○開講コース4件（R4.10月末現在）
	○求職中の非正規雇用労働者の方が働きながら受講しやすい夜間・土日やeラーニング等の訓練の提供	○求職者支援訓練短期短時間2コースの設定	○求職者支援訓練短期短時間5コースの設定	○求職者支援訓練短期短時間2コースの設定 ○求職者支援訓練短期短時間6コースの設定（R4.10月末現在）
	<広島県・機構> ○県立高等技術専門校及び広島能力開発促進センターにおいて職業訓練を実施	○県：施設内開講コース6件 委託先開講コース65件（広島県内） 機構：施設内訓練コース31件（うち企業実習付き4件）設定	○県：施設内開講コース6件 委託先開講コース65件（広島県内） 機構：施設内訓練コース31件（うち企業実習付き4件）設定	○県：施設内開講コース6件 委託先開講コース40件（広島県内）（R4.10月末現在） 機構：施設内訓練コース18件（うち企業実習付き3件）設定（R4.10月末現在）
職場定着・企業向けの取組	<労働局> ○特定求職者雇用開発助成金・トライアル雇用助成金の積極的な活用	○特定求職者雇用開発助成金3件・トライアル雇用助成金40件 ※35~44歳の申請件数	○特定求職者雇用開発助成金130件・トライアル雇用助成金60件 ※35~44歳の申請件数	○特定求職者雇用開発助成金128件・トライアル雇用助成金16件 ※35~44歳の申請件数（R4.10月末現在）
	○企業内での実習（OJT）と座学（OFF-JT）による訓練機会の提供を行うことで非正規から正規社員の転換を促進する「人材開発支援助成金」の要件緩和	○人材開発支援助成金 申請16件 計画71件	○人材開発支援助成金 申請37件 計画84件	○人材開発支援助成金 申請20件 計画32件（R4.10月末現在）

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」におけるKPI達成状況

2 長期にわたり無業の状態にある方

【KPI】 求職活動に踏み出すための支援を行い、3年間で就職件数576件以上（サポステ利用者）を目指す。				
	取組概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全体KPI	○就職件数3年間で576件以上	○就職件数 255件	○就職件数 548件（累計）	○就職件数 754件（R4.10月末累計）
—	<労働局> 地域若者サポートステーション（以下「サポステ」という。）の取組強化			
相談・各種プログラム等による支援	○新規登録者数	○ 331人	○ 368人	○ 266人（R4.10月末現在）
	○支援対象年齢が49歳までに拡大されたことを踏まえた相談体制の整備	・広報に力を入れ、人生経験豊かな専門スタッフを配置（広島サポステ） ・伴走型の面談の実施、自尊心を尊重する様に専門相談員による対応（北部サポステ） ・サポステ+（プラス）（40～49歳対象）の専用電話を開設し、電話相談の実施、チラシによる周知（ふくやまサポステ）	・広報に力を入れ、人生経験豊かな専門スタッフを配置（広島サポステ） ・伴走型の面談の実施、自尊心を尊重する様に専門相談員による対応、オンライン相談の実施（北部サポステ） ・サポステ+（プラス）（40～49歳対象）の専用電話を開設し、電話相談の実施、チラシによる周知（ふくやまサポステ）	・広報に力を入れ、人生経験豊かな専門スタッフを配置。主に就職氷河期世代の親を対象とした「ご家族個別相談日」を第二土曜日に設定し、ご家族向けセミナー&座談会を実施（広島サポステ） ・伴走型の面談を中心に実施、専門相談員により自尊心・経験を尊重する対応を心掛ける（北部サポステ） ・サポステ+（プラス）（40～49歳対象）の専用電話を開設し、電話相談の実施、チラシによる周知（ふくやまサポステ）
	○働く意欲向上等に向けたプログラムの提供	・就職氷河期世代を対象としたセミナーの実施（R2.7月・10月）参加者数51人（広島サポステ） ・個別面談強化、パソコン講座、職場見学への誘導、ハローワークとの連携（北部サポステ） ・個別カウンセリング、希望者は既存のセミナーへの参加（ふくやまサポステ）	・就職氷河期世代を対象としたセミナーの実施（R3.7月）参加者数16人（広島サポステ） ・個別面談強化、パソコン講座、1Dayセミナー、職業訓練参加、職場体験・職場見学への誘導、ハローワークとの連携（北部サポステ） ・個別カウンセリング中心の支援を実施（ふくやまサポステ）	・就職氷河期世代向けセミナーと座談会を月2回開催し、内容の充実を図る（10月末現在 延べ59人参加）（広島サポステ） ・個別面談強化による自己理解促進、職業訓練参加、職場体験や職場見学（ハローワーク連携）、職業人講話、1Dayセミナー、パソコン講座の参加（北部サポステ） ・個別カウンセリングの実施、希望者は既存のセミナーに参加（全サポステ）
関係機関へのアウトリーチ	○福祉機関等への出張相談の実施	・くらしサポートセンター、ひきこもり支援センター等へ訪問及び民生委員の会への参加によるサポステの説明（広島サポステ） ・安佐北区及び安佐南区の総合福祉センターで出張相談会を月1回実施（北部サポステ） ・生活困窮者自立支援窓口等で出張相談が可能な旨広報実施（ふくやまサポステ）	・くらしサポートセンター、ひきこもり支援センター等へ訪問及び民生委員の会への参加によるサポステの説明、地域包括支援センターへチラシの配布依頼、就労移行支援事業所、リワークセンターとの連携（広島サポステ） ・安佐北区及び安佐南区の総合福祉センターで出張相談会を月1回実施、広島市地域支えあい課・くらしサポートセンター等との連携によるアウトリーチ相談を実施（北部サポステ） ・福山市…生活困窮者自立支援センターが主催するネットワーク会議に参加、尾道市…ひきこもり支援センター立ち上げのための委員会に参加（ふくやまサポステ）	・くらしサポートセンター、ひきこもり支援センター、就労移行支援事業所との連携、各区民生委員の代表者会議において周知、依頼のあった区役所においてアウトリーチ相談を実施（広島サポステ） ・安佐北区及び安佐南区の総合福祉センターで出張相談会を月1回実施。広島市地域支えあい課、くらしサポートセンター等との連携により、必要に応じてアウトリーチ相談を実施（北部サポステ） ・福山市・府中市障害保健福祉圏域障害者就労支援ネットワーク会議、尾道市みらいネット会議、三原市ひきこもり支援機関連携会議に参加し、サポステの説明を行う（ふくやまサポステ）
職場体験の機会の確保	○職場体験等の受け入れ先の拡大	・スタッフの人脈等により開拓、ユースエール認定企業等へ文書発送による職場体験等の実施依頼（広島サポステ） ・協力企業21社へ職場見学・職場体験の機会について理解を得る（北部サポステ）	・広島サポステと北部サポステの職場体験・見学の共有 ・スタッフの人脈等により開拓、ユースエール認定企業等へ文書発送による職場体験等の実施依頼（広島サポステ） ・協力企業30社へ職場見学・職場体験・職業人講話の機会について理解を得る（北部サポステ）	・広島サポステと北部サポステの職場体験・見学の共有（広島サポステ・北部サポステ） ・スタッフの人脈等により開拓、ユースエール認定企業等へ文書発送、中小企業家同友会の協力でメールを送付することにより職場体験等の実施依頼（広島サポステ） ・支援対象者の希望を聞きながらその内容に適した企業にアプローチしている（北部サポステ）
職場定着・ステップアップ支援	○中・長期的なキャリア形成のための資格取得等技術向上支援に向けた個別相談や懇談会等の実施	・毎週土曜日を「定着ステップアップの日」とし、個別面談及びセミナーを実施（広島サポステ） ・毎月第一土曜日を卒業生の相談日とし、定着・ステップアップの相談会や利用者に対して、卒業生による講話を実施（北部サポステ） ・定着支援に係る相談の実施（ふくやまサポステ）	・月・金曜日は19時まで開館時間を延ばし、在職中の卒業生が利用しやすい体制の確立（広島サポステ） ・毎月第一土曜日を卒業生の相談日とし、定着・ステップアップの相談会や利用者に対して、卒業生による講話を実施（北部サポステ） ・卒業生講話の実施（ふくやまサポステ）	・月・金曜日は19時まで開館時間を延ばし、土曜日も開館することで在職中の卒業生が利用しやすい体制の確立。現状に沿ったセミナーや座談会の実施（広島サポステ） ・毎月第二土曜日に卒業生の座談会を実施。定期的に電話・メールにより支援を継続し、定着につながる対応を行う（北部サポステ） ・平日夜、土曜日に定着支援に係る相談の実施（ふくやまサポステ）
その他	○ひろしま北部地域サポートステーションの事業規模の拡大（令和3年度）		・事業規模が「E」ランクから「D」ランクとなり、学校関係及びハローワークとの連携を強化する。特に県北エリアのハローワーク、社会福祉協議会及び就業・生活支援センターとの連携を強化する。	・学校や管轄内のハローワークとの連携を強化し、自治体との関係構築を図ることにより、出張相談の拡大やアウトリーチ相談を実施し、潜在需要の掘り起こしを行い、連携先の拡大に取り組む。

「就職氷河期世代活躍支援ひろしまプラットフォーム事業実施計画」におけるKPI達成状況

3 社会参加に向けた支援を必要とする方

【KPI】 ひきこもり状態の人や家族などの状況に合わせた相談支援体制を整備するとともに、就労準備支援事業（生活困窮者自立支援制度）を全市町で実施する。				
	取組概要	令和2年度	令和3年度	令和4年度
全体KPI	○ひきこもり相談窓口を全市町（23市町）で明確化 ○就労準備支援事業（生活困窮者自立支援制度）を全市町（23市町）で実施	○ひきこもり相談窓口明確化市町 データなし ○就労準備支援事業実施市町 8市町	○ひきこもり相談窓口明確化市町 12市町 ○就労準備支援事業実施市町 9市町	○ひきこもり相談窓口明確化市町 12市町 ・ひきこもりサポート事業 2市町 ・ひきこもり支援ステーション事業 3市町 ○就労準備支援事業実施市町 12市町
支援対象者の把握・相談支援の充実	<広島県> ○支援対象者の把握・分析方法の検討			○ひきこもり相談支援センター（西部センター）利用者の内、就職氷河期世代を対象にアンケート調査を実施
	○市町における支援体制の充実 居場所づくり、相談体制、アウトリーチ機能を備えた生活困窮者自立相談支援事業等の充実	○PFを設置する市町数 5市町 ○自立相談支援機関による、「ひきこもり・不登校」に関する新規相談件数 197件	○PFを設置する市町数 11市町 ○自立相談支援機関による、「ひきこもり・不登校」に関する新規相談件数 188件	○PFを設置する市町数 12市町（R4.10月末現在） ○自立相談支援機関による、「ひきこもり・不登校」に関する新規相談件数 88件（R4.9月までの中間速報値） ○各ひきこもり相談支援センター（連絡協議会等）と連携し、市町でのひきこもり支援の充実・強化に向けた働きかけを行う。 【連絡協議会の開催】 西部センター（1～3月に開催予定） 中部北部センター（1～3月に開催予定）
	○支援者の資質向上のための研修の実施		○自立相談支援機関の従事者研修を開催 参加者：自立相談支援機関職員・市町職員等（延93名） 開催状況：4回（11/29, 12/20, 1/17, 3/8）	○自立相談支援機関の従事者研修を開催 参加者：自立相談支援機関職員・市町職員等（延120名（予定）） 開催状況（予定）：4回（9/26, 11/30, 1月, 3月）
本人の状況に応じた柔軟な働き方の機会の提供	<広島県> ○自立相談支援機関による就労支援や就労準備支援等の充実		○未実施の自治体に対し、会議・研修の場で事業の立ち上げについて説明をするなど、各自治体における就労準備支援事業の完全実施の取組みを促した。（令和3年度9市町⇒令和4年度12市町（予定））	○未実施の自治体に対し、実施市町の取り組み状況や開始に至るまでの課題を見える化できるような情報提供した。
地域ネットワークの形成・活用	<広島県・労働局> ○市町の取組の好事例等の情報収集や情報提供			○市町PFの活動状況や取組の好事例等の情報を収集し、各自治体へ情報提供した。
	<広島県> ○従事者研修の開催	○「ひきこもり支援者研修」 テーマ「地域におけるひきこもり支援について」～発達障害との関連等の基礎理解から長期化問題まで～（R3.2.8） 参加状況：参加者数116名（保健所、市町、生活困窮窓口等）	○「地域の支え合いコーディネート機能強化研修」開催 参加者：市町職員・社協職員等（13市町・67名） 開催状況：全4回（7/26, 8/18, 9/28, 10/22） ※一部Web実施 ○「ひきこもり支援者研修」 テーマ「地域におけるひきこもり支援について」～発達障害との関連等の基礎理解から長期化問題まで～（R3.11.8） 参加状況：参加者数96名（保健所、市町、生活困窮窓口等） ○自立相談支援機関の従事者研修を開催（再掲） 参加者：自立相談支援機関職員・市町職員等（延93名） 開催状況：4回（11/29, 12/20, 1/17, 3/8） （うち、11/29に「機関連携の重要性」、1/17に「社会的孤立を防ぐ（自殺対策）」をテーマに研修を実施）	○「地域の支え合いコーディネート機能強化研修」開催 参加者：市町職員・社協職員等（19市町・79名） 開催状況：全4回（7/5, 8/2, 9/12, 10/18） ○「ひきこもり支援者研修」 テーマ「地域におけるひきこもり支援について」～発達障害との関連等の基礎理解から長期化問題まで～ 対象者：市町精神保健担当、地域包括支援センター、社会福祉協議会、生活困窮者支援相談窓口、保健所など 日 時：11/14 ○自立相談支援機関の従事者研修を開催（再掲） 参加者：自立相談支援機関職員・市町職員等（延120名（予定）） 開催状況（予定）：4回（9/26, 11/30, 1月, 3月）
	○市町担当者会議の開催			